

事前送付資料 正誤表

追加資料2

資料名	修正箇所	誤	正
資料1	7頁 6行目	<u>前</u> 頁にあるように	<u>3</u> 頁にあるように
	7頁 15行目	その際に見直し実施することが	その際に見直し <u>を</u> 実施することが
	7頁 19行目	現在の人口ビジョン <u>に</u> かけ離れていない。	現在の人口ビジョン <u>から</u> かけ離れていない。
	9頁 表	<u>時期</u> 戦略	<u>次期</u> 戦略
資料2	合計特殊出生率 ①	厚生労働省は、H20～H24の数字しか公表 <u>されてい</u> ない。	厚生労働省は、H20～H24の数字しか公表 <u>して</u> いない。
	1頁(1) <人口> 1行目	平成 <u>22 (2010)</u> 年をピークに減少傾向。	平成 <u>21 (2009)</u> 年をピークに減少傾向。
資料3-1	1頁(1) <人口> 3行目	年少人口割合(0～14歳)の <u>減少</u> 、生産年齢人口、老年人口割合 <u>の</u> 増加している。	年少人口割合(0～14歳)、生産年齢人口 <u>の減少</u> 、老年人口割合 <u>は</u> 増加している。
	1頁(1) <世帯> 1行目	1世帯あたりの世帯員数 <u>の</u> 減少している。	1世帯あたりの世帯員数 <u>は</u> 減少している。
	2頁(3) 1行目	<u>【P 図表】</u>	(削除)
	2頁(3) 4・5行目	<u>【P16 図表 25】</u>	<u>【P16 図表 25、P17 図表 26】</u>
	2頁(4) 1行目	25-39歳→30 <u>～</u> 34歳の減少が多く。就職、結婚を機に	5-39歳→30 <u>-</u> 34歳の減少が多く、 <u>に</u> 就職、結婚を機に
	2頁(5) <商業> ①卸売業 1行目	近隣市町 <u>9市</u>	近隣 <u>9</u> 市町

資料名	修正箇所	誤	正
資料 3-1	2 頁 (5) <商業> ①小売業 1 行目	近隣市町 <u>9 市</u>	近隣 <u>9</u> 市町
	2 頁 (5) <商業> ①小売業 2 行目	<u>授業員</u> あたり	<u>従業員</u> あたり
	2 頁 (5) <工業> 1 行目	従業者数は増加傾向	従業者数は <u>近年</u> 増加傾向
	3 頁 <就業構造> 2・3 行目	女性では「製造業」、 <u>「卸売業、小売業」</u> 、「医療、福祉」の順に多い	女性では「製造業」、 <u>「医療、福祉」</u> 、「卸売業、小売業」の順に多い
資料 3-2	5 頁 2 行目	近年 (10 年) で人口増加が他地区と比較して大きいのは城東地区と池野地区で、年少人口割合も上昇 (図表 8) しており、	近年 (10 年) で人口増加が他地区と比較して大きいのは城東地区と池野地区で、 <u>池野地区では</u> 年少人口割合も上昇 (図表 8) しており、
	8 頁 3 行目	<u>過去 30 年ほどは</u> 出生が死亡を上回っていたが、	<u>平成 17 (2005) 年頃までは</u> 出生が死亡を上回っていたが、
	8 頁 7 行目	しており、 <u>2</u> 平成 25 (2013) 年時点では	しており、平成 25 (2013) 年時点では
	9 頁 1 行目	平成 19 年 (<u>2008</u> 年) ~	平成 19 年 (<u>2007</u> 年) ~
	11 頁 6・7 行目	20 歳代までの出産数が減少する一方、 <u>40~44 歳での</u> 出産数が増加	20 歳代までの出産数が減少する一方、 <u>30 歳代以降</u> の出産数が増加
	15 頁 7 行目	また、近年の市外への転出者に、転出先の居住地別に動向をみると、	また、近年の市外への転出者に <u>ついて</u> 、居住地別に動向をみると、
	21 頁 8・9 行目	また、従業者数は、・・・、平成 <u>24 (2012)</u> 年~平成 28 (2016) 年にかけて微増しています。	また、従業者数は、・・・、平成 <u>26 (2014)</u> 年~平成 28 (2016) 年にかけて微増しています。

資料名	修正箇所	誤	正																																																																		
資料 3-2	21 頁 図表 30	<p>図表 30 事業所数・従業者数の推移（民営事業所）</p> <p>資料 経済センサス基礎調査、経済センサス活動調査</p>	<p>図表 30 事業所数・従業者数の推移（民営事業所）</p> <p>資料 経済センサス基礎調査、経済センサス活動調査</p>																																																																		
	24 頁 図表 37	<p>(事業所、人、百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成25年</th> <th>平成26年</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所数</td> <td>211</td> <td>203</td> <td>214</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>従業者数</td> <td>11,170</td> <td>10,879</td> <td>12,059</td> <td>11,938</td> </tr> <tr> <td>製造品出荷額等</td> <td>380,892.84</td> <td>440,433.72</td> <td>428,069.65</td> <td>445,362.76</td> </tr> <tr> <td>1事業所当たり 製造品出荷額</td> <td>1,805</td> <td>2,170</td> <td>2,000</td> <td>2,216</td> </tr> <tr> <td>1従業者当たり 製造品出荷額</td> <td>34</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	事業所数	211	203	214	201	従業者数	11,170	10,879	12,059	11,938	製造品出荷額等	380,892.84	440,433.72	428,069.65	445,362.76	1事業所当たり 製造品出荷額	1,805	2,170	2,000	2,216	1従業者当たり 製造品出荷額	34	40	35	37	<p>(事業所、人、百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年</th> <th>平成25年</th> <th>平成26年</th> <th>平成27年</th> <th>平成28年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業所数</td> <td>223</td> <td>211</td> <td>203</td> <td>214</td> <td>201</td> </tr> <tr> <td>従業者数</td> <td>10,578</td> <td>11,170</td> <td>10,879</td> <td>12,059</td> <td>11,938</td> </tr> <tr> <td>製造品出荷額等</td> <td>410,245.10</td> <td>380,892.84</td> <td>440,433.72</td> <td>428,069.65</td> <td>445,362.76</td> </tr> <tr> <td>1事業所当たり 製造品出荷額</td> <td>1,840</td> <td>1,805</td> <td>2,170</td> <td>2,000</td> <td>2,216</td> </tr> <tr> <td>1従業者当たり 製造品出荷額</td> <td>39</td> <td>34</td> <td>40</td> <td>35</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	事業所数	223	211	203	214	201	従業者数	10,578	11,170	10,879	12,059	11,938	製造品出荷額等	410,245.10	380,892.84	440,433.72	428,069.65	445,362.76	1事業所当たり 製造品出荷額	1,840	1,805	2,170	2,000	2,216	1従業者当たり 製造品出荷額	39	34	40	35	37
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年																																																																	
事業所数	211	203	214	201																																																																	
従業者数	11,170	10,879	12,059	11,938																																																																	
製造品出荷額等	380,892.84	440,433.72	428,069.65	445,362.76																																																																	
1事業所当たり 製造品出荷額	1,805	2,170	2,000	2,216																																																																	
1従業者当たり 製造品出荷額	34	40	35	37																																																																	
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年																																																																
事業所数	223	211	203	214	201																																																																
従業者数	10,578	11,170	10,879	12,059	11,938																																																																
製造品出荷額等	410,245.10	380,892.84	440,433.72	428,069.65	445,362.76																																																																
1事業所当たり 製造品出荷額	1,840	1,805	2,170	2,000	2,216																																																																
1従業者当たり 製造品出荷額	39	34	40	35	37																																																																
	25 頁 9 行目	(図表 34)	(図表 38)																																																																		
	27 頁 14 行目	(図表 39 、 40)	(図表 43 、 44)																																																																		
	27 頁 末尾	資料：平成 22 年国勢調査結果より作成	資料：平成 27 年国勢調査結果より作成																																																																		
	31 頁 6 行目	<p>(③女性の労働力)</p> <p>労働力を性別年齢別にみると、15～19 歳、20～24 歳を除くと、すべての年齢層で男性よりも低くなっています。</p>	<p>(③女性の労働力)</p> <p>労働力を性別年齢別にみると、20～24 歳を除くと、すべてすべての年齢層で男性よりも低くなっています。</p>																																																																		

資料名	修正箇所	誤	正																																				
資料 3-2	38 頁 図表 63	<p>図表 63 月別観光地利用者数（平成 30 年度）</p> <p>資料：犬山市観光課資料より作成</p>	<p>図表 63 月別観光地利用者数（平成 30 年度）</p> <p>資料：犬山市観光課資料より作成</p>																																				
	40 頁 4 行目	平日の 10 時意向は、	平日の 10 時以降は、																																				
	41 頁① 10 行目	[P44]	[P44、 <u>45</u>]																																				
資料 4-1	1 頁 3 4 行目	外国籍の人 <u>の</u> 接する機会がある人	外国籍の人 <u>と</u> 接する機会がある人																																				
資料 4-2	16 頁 下表	<p>（人口減少対策として、市が移住施策を実施することについて、どのように考えていますか）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">取り組んで欲しくない理由 上位5位</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>治安の悪化が心配であるため</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>移住対策より他の施策を優先すべきと思うから</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>外国人が増えるから</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>人口減少対策の効果として期待できないため</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>人口を増やす必要はないと思<u>い</u>から</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取り組んで欲しくない理由 上位5位		意見数	1	治安の悪化が心配であるため	11	2	移住対策より他の施策を優先すべきと思うから	9	3	外国人が増えるから	6	4	人口減少対策の効果として期待できないため	5	5	人口を増やす必要はないと思 <u>い</u> から		<p>（人口減少対策として、市が移住施策を実施することについて、どのように考えていますか）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">取り組んで欲しくない理由 上位5位</th> <th>意見数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>治安の悪化が心配であるため</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>移住対策より他の施策を優先すべきと思うから</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>外国人が増えるから</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>人口減少対策の効果として期待できないため</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>人口を増やす必要はないと思<u>う</u>から</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	取り組んで欲しくない理由 上位5位		意見数	1	治安の悪化が心配であるため	11	2	移住対策より他の施策を優先すべきと思うから	9	3	外国人が増えるから	6	4	人口減少対策の効果として期待できないため	5	5	人口を増やす必要はないと思 <u>う</u> から	4
取り組んで欲しくない理由 上位5位		意見数																																					
1	治安の悪化が心配であるため	11																																					
2	移住対策より他の施策を優先すべきと思うから	9																																					
3	外国人が増えるから	6																																					
4	人口減少対策の効果として期待できないため	5																																					
5	人口を増やす必要はないと思 <u>い</u> から																																						
取り組んで欲しくない理由 上位5位		意見数																																					
1	治安の悪化が心配であるため	11																																					
2	移住対策より他の施策を優先すべきと思うから	9																																					
3	外国人が増えるから	6																																					
4	人口減少対策の効果として期待できないため	5																																					
5	人口を増やす必要はないと思 <u>う</u> から	4																																					

資料名	修正箇所	誤	正
資料5	9頁 2行目	「愛着 <u>と</u> 感じている」割合	「愛着 <u>を</u> 感じている」割合
	25頁 3行目	100% <u>以上</u> 市民活動を行っていない。	100%市民活動を行っていない。
	34頁 3行目	どの <u>地区</u> も	どの <u>年代</u> も
	37頁 2行目	<u>羽黒</u> 地区が最も「もっと観光に力を入れるべきだと思わない」割合が高くなって	<u>城東</u> 地区が最も「もっと観光に力を入れるべきだと思わない」割合が高くなって
	38頁 2・3行目	<u>70歳以上</u> が最も「もっと観光に力を入れるべきだと思わない」割合が高くなって	<u>30～39歳</u> が最も「もっと観光に力を入れるべきだと思わない」割合が高くなって
	39頁～41頁	移住 <u>対策</u>	移住 <u>施策</u>
	40頁	<u>70歳以上</u> が最も「移住対策を取り組んで欲しくないと思っている」割合が高くなって	<u>40～49歳</u> が最も「移住対策を取り組んで欲しくないと思っている」割合が高くなって
	71頁 2行目	(買い物は主にどこでしますか。 D. 贈答品(お中元、お歳暮、結婚祝、出産祝など)) <u>30～59歳・70歳以上</u> は「名古屋市」の割合が最も高くなっている。	(買い物は主にどこでしますか。 D. 贈答品(お中元、お歳暮、結婚祝、出産祝など)) <u>40～59歳</u> は「名古屋市」の割合が最も高くなっている。 <u>また、60未満では「通信販売」が10%を超えており、30～39歳は「通信販売」の割合が最も高い。</u>
	72頁 2行目	<u>犬山</u> 地区が最も「魅力のあるまちだと思う」割合が高く、 <u>羽黒地区、楽田地区</u> が最も「魅力のあるまちだと思っていない」割合が高くなっている。	<u>池野</u> 地区が最も「魅力のあるまちだと思う」割合が高く、 <u>羽黒地区</u> が最も「魅力のあるまちだと思っていない」割合が高くなっている。